



市民の会通信 第12号
2004年7月21日 発行
ハビタット福岡市民の会



ニューズレター第12号 主な内容

● 2004年世界ハビタットデーテーマ

● 国連ハビタット福岡事務所 職員紹介

● 国連ハビタット福岡事務所 / 市民の会
イベント情報

2004年世界ハビタットデーテーマ決まる

” Cities - engines of rural development ”

今年の世界ハビタットデーは2004年10月4日（月）です。

世界ハビタットデーのテーマについて

毎年、国連総会で明示された1985年以来、世界ハビタットデーは10月の第1月曜に祝われてきた。この日は世界が人間居住の状態と十分な住まいを持つ根本的な権利について熟考するためと、世界が人間の居住地の将来について共通の責任を持つことを気づかせるために、国連によって制定された。

今年の世界ハビタットデーのテーマは” Cities - engines of rural development ”である。それは都市と地方両方の開発にとって必須である相互に有益となる連結の重要性を強調している。この相互の関係の中で、都市の市場は地方の生産と収入の増加に強力な動機を与え、一方で地方市場の発展が都市での加工製品の生産の需要を増加させる。ついには、都市は地方の一次的生産から派生した2次的、3次的な資本投資に至る。

今年、世界的なセレモニーは2004年10月4日にケニアの首都ナイロビがコーディネイトする。今年の世界ハビタットデーの世界的に祝賀するためにケニアのナイロビを選択したのはケニアを代表とする発展途上の世界での都市化の現象の速度と社会経済的な意味を強調するためである。

ナイロビ、またアフリカ、アジア、ラテンアメリカの都市のように今日世界でももっとも速く都市化の進んでいる場所にとって、今年のテーマは地方から都市への移住の明確な効果を最大限に評価するために都市と地方の問題を全体的に扱うことの重要性を強調している。それはまた総人口の80%が都市部に住んでいるヨーロッパやアメリカの高度に産業化した都市からすでに学ばれた教訓ともっとも良い実践を引き出すことでもある。

” Cities - engines of rural development ”というテーマはこのように、地方と都市が有益な相互関係を補強できるような統合したアプローチに基づいたアイデアを産み出そうと模索している。実際問題として、地方と都市を連続したダイナミックなシステムの一部として見なすことによつてのみ我々は本当に都市と地方両方の継続的な開発を産み出すことができる。

翻訳：井上真由美



国連ハビタット福岡事務所 職員紹介

新しく国連ハビタット福岡事務所に入職された川崎さんにインタビューしましたので、ご紹介します。



川崎 渉さん

ジュニア・プロジェクト・エキスパート

E-mail: wataru.kawasaki@fukuoka.unhabitat.org

- 経歴、職歴 -

～ 1997年 3月 福岡県立新宮高校 普通科 卒業

1997年4月～1998年3月 プリタニカ国際出版社 営業部・開発部 アドバイザー

1998年4月～1998年8月 ポストン語学留学 マスタークラス 卒業

1998年9月～2002年5月 ミネソタ大学 (米国) University of Minnesota, MN

学士:国際関係学部開発科 副専攻:仏学・仏語

2002年6月～2002年9月 日本帰国

2002年10月～2003年9月 ロンドン大学開発学研究所

LSE: London School of Economics and Political Science, University of London

DESTIN: Development Studies Institute 修士:開発学 専門士:仏語

2004年1月～現在 国連ハビタット 福岡事務所 ジュニア・プロジェクトエキスパート

■ どうやって国連ハビタット福岡事務所の職員に応募されたのですか？

2003年の秋に帰国して、就職活動をしている際に国連ハビタットの「World Habitat Day 2003, 水と都市」の公開フォーラムに参加にしたことに始まりました。そこで、福岡にも国連機関があることに気づき、履歴書を送付しました。

■ なぜ、国連ハビタット福岡事務所の職員に応募されたのですか？

もともと、開発学が専門で国連のような国際機関で働くのを志望していました。そこで、「World Habitat Day 2003」での、国連ハビタットのアジア・太平洋における活動やポリシーに共感したからです。

■ いつ国連ハビタット福岡事務所の職員に職員になられたのですか？

国連ハビタット福岡事務所には2004年1月から働き始めました。

■ どんな仕事をしていますか？ジュニア・プロジェクト・エキスパートってどんなことをするんですか？

人間居住専門官のアジア・太平洋地域におけるプロジェクトのプランニングとマネジメントのアシスタントです。現在の主な活動は、日本政府からの資金協力の下で、アフガニスタンにおける「緒方イニシアティブ」のプロジェクトです。「緒方イニシアティブ・フェーズ2・3」において、国連ハビタットでは帰還民が安心して暮らせるまちづくり、つまり「地域総合開発」として主な都市、カンダハール、ジャララバード、マザリシャリフで帰還民や国内避難民が安心してなお自立して生活できるコミュニティをつくと共に、施設やエコ・トイレを建てるプロジェクトを成功させました。また、現在では「国家連携計画」National Solidarity Programmeやアフガニスタンの首都カブールでの都市開発計画やそのワークショップに取り組み、そのためにアフガニスタンにも赴く予定でもあります。さらに、国連ハビタットでは現在、日本政府からの無償資金協力のもと、イラクにおける学校再建事業とコミュニティ再建事業のプロジェクトにも取り組んでいます。現在はまだまだ、いろいろなプロジェクトに携わりながら（佐藤摩利子のアシスタントでもあります）、同時に勉強もさせて頂いています。

■ 国連ハビタット福岡事務所に入ってどんなことを感じましたか？

国連ハビタット福岡事務所は、その「国際開発」や「開発事業」についてのポリシーやアプローチが自分にとって一致したものと言えます。また、オフィスは国連と言う固そうなイメージもありましたが、以外にも職員みんな気さくな人たちが安心しました。いろいろ、花見やボーリング大会などあって、忙しくも楽しく働ける職場です。

■ これからの抱負は？

これからは、もっともっと国連ハビタットの一員として「国連ハビタット」を全国にまた世界に広げるとともに、自分自身もプロとして国連機関で活躍していきたいと願っております。



■趣味は？

水泳、和太鼓、フラメンコ、書道、旅行、点字など（現在はあまりこれといったものはやっておりませんが。。。）

■休日は、どうやってすごされていますか？

もっぱら家族（両親）と買い物やどこかに出かけたりしています。いままで、家族とほとんど一緒にいなかったのです。あとは、地元の同級生と同窓会のように集まって遊んでいます。これからは、きっと夏のお祭りなどにも出かけると思います。

ハビタット福岡事務所のイベント情報

設立7周年記念フォーラム

「世界を舞台に働く 安全管理の視点から」

国際協力、国際交流、ビジネス、女性、危機管理など幅広い視点から、多彩なパネリストが海外勤務の心構えについて話し合います。

日 時：2004年8月2日（月）13：30～17：00

場 所：アクロス福岡7F 大会議室

（福岡市中央区天神1-1-1）

プログラム

基 調 講 演：外務省海外安全相談センター室長

ディスカッション：マスコミ、JICA、NGO、企業、大学など

連 絡 先：国連ハビタット福岡事務所

（要予約）TEL 092-724-7121 FAX 092-724-7124

世界ハビタットデー関連イベント

●絵画コンクール展示会 9月25日（土）～10月3日（日）

●絵画コンクール授賞式 10月2日（土）

●世界ハビタットデー記念シンポジウム 10月4日（月）

上記イベントに関してハビタット福岡事務所より一般ボランティアが募集されています。

募集内容

- A) 8月末～9月24日 絵画コンクール応募作品の受付、審査、および展示会準備の補佐
- B) 9月25日～10月3日 展示会のアテンドおよび授賞式の運営補佐
- C) 10月4日 世界ハビタットデー記念シンポジウムの運営補佐（受付／資料配布など）
- D) 9月～12月 ハビタットの広報活動の補佐

ボランティアの条件など

- ・期間中、国連ハビタット福岡事務所および展示会場（九州エネルギー館・福岡市中央区薬院）にて10：00～17：00まで（9月25日～10月3日の間は週末含む）お手伝いできる方。
- ・週2～3日程度、1日4時間程度従事できる方。

注意事項

- ・交通費などの支給はありません。
- ・ボランティア期間中は「ボランティア保険」ハビタット福岡事務所が加入手続きします。

ボランティアの登録など、詳しいことはハビタット福岡事務所に直接お問い合わせください。

担当：松鶴（まつう）さん

イベントのお知らせ

ハビタット福岡市民の会 設立5周年記念イベント

CREATE FESTA 2004

シンポジウム「アジアの教育事情」

日 時:2004年8月7日(土)

開 場:14:30 開演:15:00

会 場:福岡市健康づくりセンターあいれふ 10Fホール

入場料:無 料

報告者:教育支援活動をしているアジアの皆さん

◆サガール シャルマさん (ネパール)

◆ピーター フェナンドプレさん (スリランカ)

◆ダラ プスピアルディニさん (インドネシア)

コーディネーター:松田 美幸 (ハビタット福岡市民の会 代表)

世界音楽祭

日 時:2004年8月7日(土)

会 場:17:30 開演:18:00

会 場:福岡市健康づくりセンターあいれふ 10Fホール

入場料:一般1000円 小学生500円

<主なプログラム>

モンゴルの馬頭琴、ミャンマーの踊り、インドの古典舞踊と歌、ウイグルの踊り、オーストラリアの民族楽器、インドネシアのアンクルンとダンス、中国の漢民族の踊り、京劇の歌と演舞、セネガルのジェンベ太鼓

バングラデシュのこどもの絵画展

日 時:2004年8月3日(火)~8日(日)

9:00~19:00(最終日は17:00)

会 場:福岡市健康づくりセンターあいれふ 1Fコミュニティプラザ

入場料:無 料

内 容:バングラデシュの9~10才のこどもの絵画約50点を展示
アジアの教育事情、教育支援の状況、共催団体の紹介など

主 催:クリエイトフェスタ実行委員会

共 催:ハビタット福岡市民の会、セミナー企画室「コスモポリタンズ」

ハビタット福岡市民の会 事務局よりお知らせ

◆定例会 8月18日(水)18:30~ 福岡市NPOボランティア交流センターにて
地球市民どんたく出展の話し合い等を行います。

◆1月11日(日)に西鉄太宰府駅前で行ったアフガニスタン復興支援募金は日本ハビタット協会へ振り込み
ました。

●ホームページ <http://www2.ktarn.or.jp/~muta/cnhf/>

●事務局FAX番号 092-928-5529 ●E-mail muta@ktarn.or.jp

●NPOボランティア交流センターにハビタット市民の会の連絡箱(No.2)が設置されました。

市民の会宛の郵便物は、下記へ

〒810-0041 福岡市中央区大名2-6-46 福岡市NPOボランティア交流センター 私書箱2号